

ナイスケアだより

第145号
令和6年6月発行

ランニングを通じての長年の友人で比留間さんという方がいます。一緒に東大和市の多摩湖周回コースを何度も走り交流を深めました。誠実な人柄で、フルマラソンや富士山の一合目から山頂までの駆け上り競争などにチャレンジし達成するなど精神力はすごく何度も感心させられました。50才台から介護の仕事に挑戦しショートステイの施設に勤務しました。働き始めてすぐにコロナウィルスが施設で大流行した中で、持ち前の頑張り精神で大変な状況を乗り越え勤務を続けられました。



そんな比留間さんと何度かお会いする中で、在宅サービスに興味を持たれ、東大和市の地域にもっと在宅サービスを充実させたい夢を持たれていました。私自身も「質の良い介護サービスが地域で提供できる」ことを仕事の目標としており、意気投合し東大和市に訪問介護事業所を立ち上げることになりました。比留間さんが所長となり、一緒に長女さんもホームヘルパーとしてチャレンジします。

東大和市は自然豊かな美しい街で、その中で介護が必要な高齢者が自宅で安心した生活が継続できるようナイスケア東大和事業所として努力し頑張っています。



有限会社ナイスケア 代表取締役 塩川 隆史

～ボウリングの日～

青葉若葉の時期になりました。いかがお過ごしでしょうか。

毎年6月22日はボウリングの日と制定されているそうです。1861年に長崎で日本初のボウリング場の開設が広告に掲載されたことが由来で制定されたそうです。ボウリングが江戸時代には存在していたことが驚きですよ。実はボウリングの歴史はとても古くて、古代エジプト時代のお墓より石で出来たボールとピンが発掘されており既にボウリングは存在していたとされています。

一度に全部に倒すストライクは気持ちいいものですよ。ストライクが3連続決まると「ターキー」と呼ばれることがあります。ターキーは3連続決まってお祝いとして七面鳥が振舞われていたことが由来だとされています。ボウリングはピンを災いなどに見立てて、倒すことで厄払い的な事をするなどもあるそうで、ストライクすると感じる爽快感や達成感はそういうところからも来ているかもしれませんね。

皆様もボウリングでストライクなど考えずに思いっきり投げて、気分爽快してみたいはいかがでしょうか？

荒井 亮介